

研究紀要

縄文の森から

From JOMON NO MORI

創刊号

鹿児島県のナイフ形石器文化後半期の研究
桑波田 武志

遺跡と道跡 —南九州の縄文時代早期を主として—
繁昌 正幸

縄文時代早期の磨製石鎌について
宮田 栄二

南九州貝殻文系土器の組合せに関する覚え書き
黒川 忠広

石板式土器再考
前迫 亮一

縄文時代早期の壺形土器出現の意義
新東 晃一

上野原遺跡第10地点検出の「環状遺棄遺構」について
八木澤 一郎

石庖丁の使用痕分析
永瀆 功治

波板状凹凸面牛馬歩行痕説再論
東 和幸

中世山城跡の近世遺物
堂込 秀人

埋蔵文化財情報管理システムの概要と情報公開
高見 憲次

鹿児島県立埋蔵文化財センター

2003. 3